

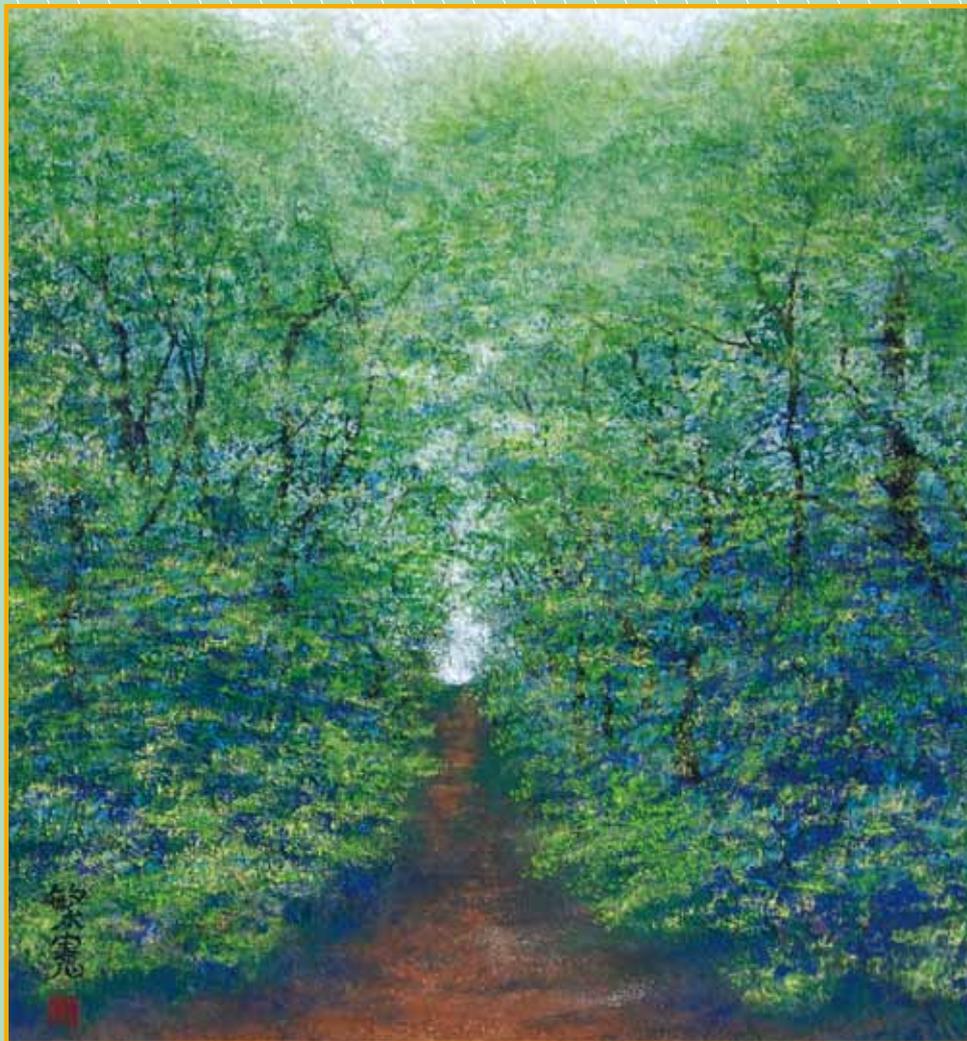
TOYAMA VICTIM SUPPORT CENTER



公益社団法人

# とやま被害者支援センターだより

2016. 8. 31 発行 第22号



岡田繁憲「倶利伽羅古道」

目

次

|                 |     |        |     |
|-----------------|-----|--------|-----|
| 特別寄稿（村椿晃魚津市長）   | 1   | 活動報告   | 4   |
| 平成28年度定時総会及び理事会 | 2・3 | 今後の予定等 | 5・6 |

## オール魚津で



魚津市長 村椿 晃

今年の夏は、連日の猛暑が続いておりましたが、空の青さにも幾分秋の気配が感じられます。皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

とやま被害者支援センターの皆様におかれましては、平成18年の発足以来、ちょうど10年の節目を迎えられ、この間、犯罪被害者やその家族に対して献身的な支援と精神的なケアにご尽力をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、全国各地で凶悪な殺人事件や悲惨な交通事故が相次いで発生しております。7月には相模原市での障がい者を標的とした猟奇的な無差別殺人、また、海外ではバングラデシュテロ事件において、日本人7名を含む多くの尊い生命が犠牲となったことは、国民に大きな衝撃を与えています。

本県におきましても、刑法犯の認知件数と交通事故発生件数は、前年より減少しております。しかし、交通事故死者数が、平成18年以來の70名となりました。県・県警をはじめ、市町村行政が一体となり、地域のパトロール隊、防犯協会、交通安全協会等が連携し、「安全・安心のまちづくり」をより一層推進していく必要性を痛感いたしました。

このような中、富山県では、本年2月に「犯罪被害者支援ハンドブック」の作成、また、犯罪被害者等支援条例(仮称)の制定を目指しておられるなど、支援の輪は、総合的かつ計画的に推進しています。

犯罪や事故がこの世の中から絶えない限り、必ず加害者と「被害者」が存在します。被害者の方はもちろん、ご家族、ご遺族をはじめ関係するすべての方々の受けた痛み、心の傷は決して癒されるものではありません。

先般、横山秀夫氏原作の「ロクヨン」という映画が公開されました。作者の意図するテーマとは、異なるかもしれませんが、少女誘拐殺人事件の被害者の父の苦悩と復讐の演技は、犯罪被害者の心情が私たちの心に伝わり、その胸中を察するといたたまれない気持ちになります。

貴センターによる支援は、行政による支援に加え、迅速で柔軟なきめ細やかな支援であり、かつ長期にわたる継続的な支援を提供できるという大きな意義があります。犯罪や事故に遭われた方々が、再び平穏な生活を過ごすことができるまでの支援の提供を期待しております。

私事になりますが、本年5月に多くの市民の皆様や各界各層のご支持を賜り、魚津市長の重責を担うこととなりました。人口減少や地方活性化など山積する課題にスピード感を持って、しっかりスクラムを組んで「オール魚津」で取り組んでいく決意であります。

市民、地域、行政、関係諸機関が協働し、犯罪を未然に防ぎ、犯罪のおこりにくい地域づくりを行うことが、我々行政の重要な使命であります。また、犯罪被害者の皆様にとりまして、心の支えとなる行政支援を実施するとともに、被害者支援に対する理解と協力を深めながら、安全で安心に暮らせるまちづくりを目指してまいります。

結びに、とやま被害者支援センターのこれまでの地道な活動に対して、心から敬意を表しますとともに、今後とも被害者支援の中核としてその輪を広げられ、皆さまの心のよりどころとなりますよう、また、貴センターのご発展と関係各位のご多幸を心からお祈り申し上げます。

# 平成28年度定時総会の開催結果

6月18日（土）、パレプラン高志会館において平成28年度定時総会が開催され、平成27年度事業報告と決算書が承認されました。

また、総会に先立ち永年功労職員等4名のボランティアに理事長から表彰状が授与されたほか、事務局から10周年記念事業等についての報告がありました。



## 事業報告（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）

|   |  |       |             |               |       |
|---|--|-------|-------------|---------------|-------|
| 1<br>犯罪被害者支援活動  | 区分\年度  | H26年度 | H27年度       | 前年度対比         |       |
|   | 相談活動   | 331件  | 354件        | +23件（+7.0%）   |       |
|   | 直接支援活動   | 207回  | 28回         | -179回（-86.5%） |       |
|   | 自助グループ支援   | 11回   | 11回         | ±0回（±0.0%）    |       |
| <p>○相談活動354件の内訳は、電話相談320件、面接による相談34件でした。<br/>                 ○平成26年度から本実施に移行した無料法律相談は、2回実施しました。<br/>                 ○自助グループの支援活動は、広く門戸を開放した結果11回実施し41人が参加されました。</p>   |  |       |             |               |       |
| 2<br>広報啓発活動   | 活動区分\年度  | H26年度 | H27年度       | 前年度対比         |       |
|   | 広報活動   | 34回   | 34回         | ±0回（±0.0%）    |       |
|   | 啓発活動   | 39回   | 37回         | -2回（-5.1%）    |       |
|   | 計  | 73回   | 71回         | -2回（-2.7%）    |       |
| <p>(1)センターだよりの発行<br/>                 4月（18号）、8月（19号）、12月（20号）の3回、各3,800部を発行しました。<br/>                 (2)主要行事<br/>                 犯罪被害者週間行事の一環として、11月28日（土）、パレプラン高志会館において、230人が参加し、<br/>                 第1部 命の大切さを学ぶ教室作文コンクール表彰式・最優秀作品の朗読<br/>                 第2部 講師 秋田看護福祉大福祉学部看護学科 教授 山内久子氏の講演<br/>                 第3部 シンガーソングライター 伊藤 敏博氏によるコンサート<br/>                 を内容とする「講演会&amp;コンサート」を開催しました。<br/>                 (3)街頭活動<br/>                 11月25日、富山県警察、富山県被害者支援連絡協議会と協働してJR富山駅及びJR高岡駅前でチラシ等を配布しました。<br/>                 (4)とやま被害者支援センターの周知<br/>                 富山県内16郵便局及びJR富山駅前地下通路にポスター掲出、富山市電側面広告などにより、県民への周知を図りました。</p> |  |       |             |               |       |
| 3<br>支援活動員のスキルアップ   | (1)継続研修  | 区分\年度 | H26年度       | H27年度         | 前年度対比 |
|   | 実施回数   | 17回   | 13回         | -4回（-23.5%）   |       |
|   | 延べ受講者数   | 208人  | 164人        | -44人（-21.2%）  |       |
|   | <p>当センターの久保理事をはじめ、弁護士、臨床心理士、検察官等を講師として招聘しての継続研修に積極的に取り組み、スキルアップを図りました。</p> |       |             |               |       |
| (2)外部研修   |  |       |             |               |       |
| 区分\年度   | H26年度  | H27年度 | 前年度対比       |               |       |
| 参加回数  | 14回  | 21回   | +7回（+50.0%） |               |       |
| 延べ受講者数  | 39人  | 48人   | +9人（+23.1%） |               |       |
| <p>○全国被害者支援ネットワークや内閣府が主催の研修や会議に積極的に参加しました。<br/>                 ○東海・北陸ブロックの質の向上研修には、前期に4名、後期に4名が、それぞれ参加し、連携の強化とスキルアップに努めました。</p>  |  |       |             |               |       |

|   |   |          |                   |                  |
|---|---|----------|-------------------|------------------|
| 4<br>財政基盤の強化  | <b>(1)賛助会員</b>  |          |                   |                  |
|   | 賛助会員\年度   | H26年度    | H27年度             | 前年度対比            |
|   | 企業・団体   | 209      | 265               | +56 (+26.8%)     |
|   | 警察職員  | 2,217    | 2,250             | +33 (+ 1.5%)     |
|   | その他個人   | 253      | 247               | -6 (- 2.4%)      |
|   | 計   | 2,679    | 2,762             | +83 (+ 3.1%)     |
|   | 新規の企業・団体や警察職員の賛助会員が増えた一方、その他個人賛助会員が減少しました。  |          |                   |                  |
|   | <b>(2)支援募金箱</b>   |          |                   |                  |
|   | 区分\年度   | H26年度    | H27年度             | 前年度対比            |
|   | 募金箱設置数  | 69個      | 69個               | ±0個(± 0.0%)      |
|   | 募金総額  | 76,097円  | 101,162円          | +25,065円(+32.9%) |
|   | <b>(3)支援自販機</b>   |          |                   |                  |
|   | 区分\年度   | H26年度    | H27年度             | 前年度対比            |
|   | 設置台数  | 30台      | 37台               | +7台(+23.3%)      |
| 金額  | 312,143円  | 495,221円 | +183,078円(+58.7%) |                  |
| <b>(4)その他</b>   |   |          |                   |                  |
| ○県民から不要となった本の寄贈を受け、その売却代金を寄付金として受領するホンデリング活動で総額49,868円の収益がありました。                                  |   |          |                   |                  |
| ○富山市大泉地内の殺人・放火事件捜査に協力する会から100万円の寄付（基金設立）を受けたほか、警察音楽隊演奏会、「講演会&コンサート」等での寄付として総額1,376,132円の収益がありました。 |   |          |                   |                  |
| 5<br>との連携   | ○富山県警察と共催している「命の大切さを学ぶ教室」へ高倉講師、生地講師を8回（受講者累計1,437人）にわたり派遣するなど、多くの活動で連携を図りました。     |          |                   |                  |
|   | ○ネットワーク組織、富山地方検察庁、富山県弁護士会、法テラス、富山県女性相談センター等の関係機関との連携を深め、講師派遣、意見交換会、交流会参加等を推進しました。 |          |                   |                  |

| 収支決算 (単位=円) |        |            |            |            |
|-------------|--------|------------|------------|------------|
|             | 科目     | 平成26年度     | 平成27年度     | 増減         |
| 経常収益        | 会費     | 7,968,000  | 8,522,000  | 554,000    |
|             | 補助金等   | 9,360,000  | 9,520,000  | 160,000    |
|             | 寄附金    | 646,604    | 1,050,353  | 403,749    |
|             | 雑収入    | 2,634      | 1,910      | △724       |
|             | 経常収益計  | 17,977,238 | 19,094,263 | 1,117,025  |
| 経常費用        | 事業費    | 14,673,656 | 15,048,550 | 374,894    |
|             | 活動調査費  | 3,552,275  | 6,137,478  | 2,585,203  |
|             | 相談員養成費 | 4,623,856  | 3,437,809  | △1,186,047 |
|             | 広報啓発費  | 6,497,525  | 5,473,263  | △1,024,262 |
|             | 管理費    | 3,151,541  | 4,229,886  | 1,078,345  |
|             | 経常費用計  | 17,825,197 | 19,278,436 | 1,453,239  |
| 当期経常増減額     |        | 152,041    | △184,173   | △336,214   |

## 報告事項

- 1、支援活動ボランティアの募集結果について
- 2、とやま被害者支援センター設立10周年記念事業について
- 3、富山県犯罪被害者等支援条例（仮称）骨子（案）について（県議PTとの意見交換等経過報告）

## 表彰

6月18日の定時総会の席上、次の4名の方々が四十物理事長から永年功労職員等表彰を授与されました。

数下浩子／桂恵子／西由美子／上村芳美



長年の支援活動で表彰されたボランティアのみなさん

# 活動報告

## 研修会

### ● 継続研修

7月19日 被害者遺族の声を聴く  
 講師：大橋多恵子氏（交通死亡事故被害者遺族）  
 大橋さんは次女を亡くした悲しみについて「交通事故死であっても最愛の人を亡くすことは、殺されたことと同じつらさ」などと訴えられました。



### ● 事例検討会

スーパーバイザー：大久保恵美子先生  
 （NPO法人全国被害者支援ネットワーク顧問・当センター理事）  
 6月2日  
 7月7日  
 8月4日



### ● 県外研修

7月23日、24日 平成28年度質の向上研修上半期 東海北陸ブロック研修会（金沢市）3名参加

## 講演活動 「命の大切さを学ぶ教室」

5月17日 高岡西高校 359人  
 7月 6日 呉羽高校 230人



## 広報・啓発活動

5月25日 調停委員研修会（魚津裁判所）  
 5月31日 富山地方検察庁との定期連絡会（富山地方検察庁）  
 6月19日 チャイルドライン研修会（サンシップとやま）  
 6月30日 犯罪被害者等支援関係機関連携会議（県民会館）  
 7月 5日 富山県被害者支援連絡協議会（県民会館）  
 7月21日 性犯罪・性暴力被害者支援に係る関係機関連絡会議（県民会館）  
 7月28日 富山地方検察庁との定期連絡会（とやま被害者支援センター）  
 8月 7日 おまわりさんの演奏とドリルの祭典（オーバードホール）

## 自助グループ支援活動

4月22日 5月20日 6月24日 7月22日



自助グループのみなさんが作ったブローチ

## とやま被害者支援センター設立10周年記念行事

日時

平成28年11月26日（土）  
午後1時から

場所

オークスカナルパークホテル富山2F  
（富山駅北口から徒歩2分）

# 講演会&コンサート

入場無料

第1部 ● 設立10周年記念式典  
● 命の大切さを学ぶ作文コンクール  
優秀作品の表彰と朗読（中・高校生）

第2部 ● 講演会 演題：『命を尊ぶ社会をめざして』  
講師：教育評論家・法政大学教授

尾木直樹さん（尾木ママ）

● コンサート Tomomiさん（シンガー・ソングライター）

※入場は無料ですが、今回は、会場等の関係から後日送付のチラシ（裏面）による事前申し込みをお願い致します。

## ボランティアの養成講座の実施

（5月23日～27日）

当センターの新しいボランティアとして4名が採用されました。それぞれの方に抱負を語っていただきました。

誰にでも突然起こりえる事故や犯罪により、深く傷つかれた方のお力になりたいという思いから活動に加わらせて頂きました。とやま被害者支援センター発足から10年、先輩方の積み上げてきたものを守り、充実した支援活動が出来るよう、日々学習を積んでいきたいと思ひます。（浦山）



研修を受ける新ボランティアのみなさん  
（とやま自遊館）

被害者の方の保護と支援のお手伝いを微力ながら少しでもできたらと思ひ、支援センターの仲間入りをしました。これから色々なことを学習して、不幸にして突然犯罪や交通事故等に見舞われ、支援を必要とされている方の悩みや悲しみに少しでも寄りそった活動が出来る様に頑張っていきたいと思ひます。（中村）

今年初めに、支援員さんが不足し募集されていることを知り、支援センターを訪ねました。選考のあとボランティアの講座を受けて、当センターの方々のお手伝いの勉強をしています。いつの日か、被害者の皆さんに向き合っその思いを聴き、寄り添って応援が出来る様になろうと思ひています。しかしながら、もともとはこのような支援する機関などいない犯罪や事故の少ない社会を取り戻すのが、私たちの目指すところと考えます。その日まで先輩たちとともに粘り強く精進しようと思ひます。（中川）

自分なりに犯罪被害者の方々のお役に立てればと思ひ、活動の仲間入りをさせていただきました。研修を受けるにつれて、活動の繊細な心遣いや奥深さを知り緊張しておりますが、一歩ずつ頑張りたいと思ひます。（山田）



### 賛助会員名の訂正

前号にて平成27年度中に会費を納入いただいた賛助会員の方のお名前を掲載させていただきましたが、富山ミナト運輸様と三越通信工業様のお名前に間違いがありました。お詫びして訂正させていただきます。

## あなたの優しさを待っています…

私たちの活動は、皆様からの会費・ご寄付等に支えられています。当センターの支援活動は全て無料で行われます。そのためには経費が必要になります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

## 賛助会員・ご寄付のお願い

### ● 賛助会員とは

当センターの目的に賛同し、事業を財政面で支援する法人・団体または個人です。

### ● 年会費

- ◎法人・団体会員 1口 10,000円
- ◎個人会員 1口 2,000円  
(口数に制限はありません)

### ● ご入金の方法

- ◎当センター発行の「払込取扱票」にご記入の上、お近くの郵便局でご入金願います。  
「払込取扱票」については、事務局(076-413-7820)にお問い合わせください。
- ◎また、銀行振込みの場合は、  
**北陸銀行北電ビル出張所(普) 5025520**  
公益社団法人とやま被害者支援センター  
にお願いします。(振込み手数料を差引いて入金してください)

### ＝被害者支援自販機の設置協力＝

本年も、次のメーカーのご協力をいただき、警察本部や各警察署などに設置してある飲料自販機(37台)の売上げの一部を、犯罪被害者支援金として寄付していただくことになりました。

- ・北陸コカ・コーラボトリング(株) ・(株)ベネフレックス ・中部ペプシコーラ販売(株)
- ・(株)ジャパンビバレッジウエスト ・(株)ダイードリンク北陸 ・(株)アペックス ・北陸自動販売(株)
- ・コーシン・サントリービバレッジ(株)

### ＝個人、民間事業所＝

これらのメーカーでは、県内どこにでも被害者支援自販機の設置が可能です。設置にご協力いただける方、事業所、または、検討をお考えの方、ぜひ、宮本事務局長までご連絡をください。皆様のご協力を、お待ちしております。よろしくお願いいたします。

ありがとうございます。  
ごぞいます。

## ホンデリング ～本で広がる支援の輪～ にご協力下さい！

あなたの本のご寄付で、犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。読み終えた本やCD・DVD・ゲームなどがあれば、とやま被害者支援センターにお持ちくださるか、ご連絡いただければ引き取りに伺います。ご協力を、よろしくお願いいたします。

## 犯罪被害者 支援募金箱

犯罪被害者支援のため、各市町村(24箇所)、警察署(22箇所)、自動車学校等の事業所等(25箇所)に募金箱を置かせていただいています。

新たに、ご協力いただける事業所等がございましたら、ぜひ当センターまでご連絡ください。

7月に募金を回収したところ、計90,485円のご厚意が寄せられました。ご協力ありがとうございました。



## イオン黄色いレシートキャンペーンにご協力を

毎月11日にイオン高岡南店でお買い物され、黄色のレシートを店内に設置された投函コーナーにある当センターのボックスに入れていただきますと、レシート合計金額の1%相当額の物品がイオンリテール(株)様から当センターに寄贈されます。それを支援活動等の事務用品類などに有効活用させていただきますので、皆様のご協力をお願いします。



## 設立10周年に思う〈下〉

当センターは今年9月に設立10周年を迎えます。この10年間、犯罪被害者や関係者からの相談、支援に携わってきたボランティアの皆さんに活動を振り返ってもらい、あらためて被害者に寄り添う姿勢について考えたいと思います。

### 「初心忘れず」接したい

子育ても少し一段落して、何か出来ることがないかなと思っていたところに、新聞で被害者支援のボランティア募集を目にしたのがきっかけでした。

富山県内での研修から東海北陸での研修、そして全国研修会とたくさんのことを学ばせて頂きました。自助グループの支援も参加させて頂きました。実際、学んだことを活かそうと思ってもなかなかうまくいかず、被害者の方を傷つけたのではないかと、落ち込んだりすることもありましたが、事務局の方や他の相談員さんにアドバイスをもらいながら、今日までできました。

これからも、相手の気持ちに寄り添い、どう支援することが良いのか、初心を忘れずに被害者の方に接することを心がけていきたいです。（藪下）

### 被害者との繋がり大切に

毎年この頃になると思い出すのは10年前のボランティア養成講座のことです。暑さの中、80名余りの受講者と共に、初めて「被害者支援」について学んだこと、そして毎回のレポート提出が大変だったことです。

これまでボランティア1期生として、被害者の方からの電話や面接による相談を受けたり、自宅訪問をしたり、裁判所に付き添ったりといった活動をしてきました。しかし、その際に、被害者の方を傷つかなかっただろうか、これで良かったのだろうか悩むこともありました。

ボランティアを始めたころの熱い思いを忘れず、社会の一員として被害者の方と繋がっていかれたらと思います。（堀田）

## 平成28年度の弁護士による無料法律相談について

予約制で、いずれも午前10時～正午まで開きます。  
詳しくは当センターへお尋ねください。

開催日

8月31日(水) 10月26日(水) 12月28日(水) 2月22日(水)  
9月28日(水) 11月30日(水) 1月25日(水) 3月29日(水)

### おかしげのり 岡田繁憲氏

- 1950年 富山県南砺市（福野町）に生まれる
- 1976年 文化勲章受章者の故奥田元宋氏に師事 日展初入選
- 1985年 日展特選 日展会友
- 1989年 セントラル日本画大賞展に招待出品
- 1990年 日展特選 文化庁現代美術選抜展出品 とやま賞受賞
- 1991・1994年 「森の譜」・「緑陰譜」内閣官邸借上
- 1996年 富山県民会館美術館にて個展
- 2001年 北日本美術大賞展にて特別受賞
- 2002年 となみ野展にて部門賞受賞 「森の鳥」新首相官邸借上
- 2003年 日展審査員
- 2004年 日展会員 となみ野展にて部門賞受賞
- 2007年 高岡市美術館にて「日本画の最前線」展
- 2010年 南砺市福光美術館  
「岡田繁憲日展出品32作品と遊虎・紫音親子3人展」
- 2011年 日展審査員
- 現在 日展会員 新日春会会員 南砺市美術連合副会長 他

### 編集後記

歳の所為でもあるまいが、いや多分歳の所為だろう、はたまた忙しい日々を送っている所為だろうか、いずれにしても歳月の経つのが本当に早いと感じる今日この頃である。

去る6月8日付の某新聞の朝刊に「安全な学校へ決意新た」との見出しで、15年前に発生した大阪・池田小学校事件、同じく8年前の同日、東京・秋葉原で発生した無差別殺傷事件のご遺族の談話や同じくテレビの特集番組を目にした。

事件以来、時の止まったままの遺族、一方、「前を向いて…」、「安全を願う心を忘れずに…」とのその言葉の中に、わたしなりに被害者支援の在り様を垣間見る思いがした。

公益社団法人

**とやま被害者支援センターだより 第22号**

平成28年8月31日発行

発行／富山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体  
公益社団法人とやま被害者支援センター

責任者／事務局長 宮本 春慶

事務局／〒930-0858 富山市牛島町5番7号

TEL：076-413-7820 FAX：076-471-7825

E-mail／jimukyoku@toyama-shien.com

ホームページ／http://www.toyama-shien.com

